



# 愛媛県立大洲高等学校

## 肱川分校

〒797-1503

愛媛県大洲市肱川町宇和川 3395

TEL 0893-34-2501

FAX 0893-34-2601

昭和 23 年 大洲農業高等学校肱川分校創立

昭和 24 年 大洲高等学校肱川分校となる

自律・練磨・創造を校訓とし、基礎基本を重視したていねいな授業を推進し、一人一人の生徒を活躍させ生きる力を育み、学校行事などの感動体験によって、思いやりと豊かな心を持つ生徒の育成を目指す。

学級数：4 生徒数：30 普通科（4年制）

## 地域を花いっぱいにする

肱川町主催の「花いっぱいの町づくり推進事業」で、町内を花でいっぱいにしようと、小中学校と一緒に学校の周りに花を植えて、訪れる人に楽しんでもらっている。

また、7月、11月は大洲土木事務所主催の「愛リバー清掃活動」で、河川敷でのゴミ拾い等清掃活動に参加した。

大洲警察署の「交通茶屋」では、毎年、2週間くらい前から手作りのクッキーを作り、道行く人に渡して喜んでいただいている。

11月のお茶会では、介護福祉施設の高齢者の方々を招待して、お茶のお点前を披露しおもてなしをする。毎回、60～70人ほどの参加がある。その折、音楽グループは、利用者の知っていそうな曲を選択し歌う。今年は「さぼてんの花」を歌った。高齢者の方は「知っている曲なので楽しめた、とても上手だったよ」と褒めてくれる。

地域があつての学校なので、感謝の気持ちをこめて恩返しをしたいと思っている。また、生徒にとっても体験活動で人とふれあう良い機会である。



お茶のお点前を披露する



交通茶屋



清掃活動

入学当時は元気のなかった生徒が、とても明るくなって卒業する。

生徒がボランティア活動をすることで地域にアピールできるとともに、生徒自身も感謝されたり、褒められたりすることで自己肯定感が育まれ、協調性や社会性が育っている。

学校行事等では喜んでする生徒がほとんどだが、学校外や社会に出たときにも、積極的に活動してほしいと願っている。





# 愛媛県立大洲農業高等学校

〒795-8509

愛媛県大洲市東大洲 15 番地 1

TEL 0893-24-3101

FAX 0893-23-5232

大正 14 年 大洲村 10 ヲ町村学校組合立大洲高等農業補習学校開校

昭和 15 年 県立に移管 愛媛県立大洲農業学校と改称

昭和 23 年 学制改革により愛媛県立大洲農業高等学校と改称

『どこに出しても恥ずかしくない人間になれ』『国家社会の役に立つ人間になれ』を校訓に、将来の国家及び地域社会の有為な形成者として、伝統の継承と郷土愛をはぐくみ、国際的視野をもった人間を育成することを教育方針とする。

学級数：9 生徒数：307 生産科学科・食品化学科・生活科学科

## 農業高校の専門性を生かした活動

生徒が指導者となり、小学生と体験学習を行っている、「大農うきうきわくわくスクール」は、年間 6 回土曜日開催される。それぞれの学科が持ち回りで特色を活かした活動をしている。

また、地域住民を対象に大農開放講座を年間 6 回土曜日に開催している。総合学習の一環として生徒は講座の補助として参加する。

毎年生徒が丹念に育てた菊を菊花展へ出品。今年度は、奥道後菊花展で賞をもらった。

実習として、商店街の「あいたいな産直市」に出店、大洲芋コロケや手作りのジャム、クッキーを販売した。

その他の活動として、全校生徒による清掃活動、生徒会・農業クラブ・家庭クラブを中心にした有志による地域や介護施設のイベント手伝い、・VYS 部は、児童館でのクリスマス会、もちつき子ども会等、家庭クラブでは、JR 駅清掃、老人福祉施設訪問等がある。

いずれの活動においても地域の方々と交流する機会が多く、異年齢、異職種の方々とふれあいは、学校生活だけでは得ることのできない貴重な体験となっている。また、本校主催の活動は、日ごろの学習の成果を披露する場でもあるので、生徒の自信にもつながっている。

また、学校以外で多くの方々と交流することで、コミュニケーション能力を向上させ、視野を広げ、将来の進路を考えるヒントにもなりえる。

今後も、できる限り継続していく予定であるが、必要に応じて参加方法を見直し、より多くの生徒が参加できる活動にしていきたい。





## 愛媛県立長浜高等学校

〒799-3401

愛媛県大洲市長浜甲 480 番地 1

TEL 0893-52-1251

FAX 0893-52-3115



昭和 15 年 長浜家政女学校設置許可

昭和 23 年 愛媛県立長浜高等学校設置

地域社会や家庭と連携をとりながら知・徳・体の調和のとれた高校教育を推進し、人格の形成と社会の担い手としての必要な資質の向上を図ることを教育方針とする。

学級数：6 生徒数：134 普通科

### 第 3 土曜日は 300 人の来館者 長高水族館

昭和 10 年、四国で初めて長浜に水族館が誕生した。その水族館を高校生レベルで復活させようと、平成 11 年長高水族館ができた。教室 2 つ分のスペースで、毎月第 3 土曜日 11 時～15 時開館している。水族館部の生徒は 19 人。本校の生徒は全体的におとなしいので、入部したての生徒は、来館者への説明も頼りないが、3 年生になると余裕を持って対応できるようになる。幅広い来館者との交流を通してコミュニケーション能力が向上し、自信をつけることが出来たようである。

また、商業部の生徒は水族館の地域への経済波及効果を研究し、地域で発表した。家庭クラブは水族館の隣の教室で来館した子どもたちと遊んだり、アクセサリ教室を開いて訪れた人に作ってもらったりして喜ばれている。全校生徒がなんらかの形で水族館に関わっていて、その活動ぶりは大変意欲的である。

長浜では、この水族館で町を活性化しようという動きがある。7 割の生徒が長浜町外から通学しているが、ほとんどの生徒はこの町の活性化に関与することで、郷土愛を育み、地域貢献の必要性についても実感しているようだ。

また、町内の商店街に水槽を設置し、町全体を水族館にする「長浜まちなみ水族館」プロジェクトが始まる。この取り組みを本校も応援する。

生徒が情熱を失わないようにするためには、生徒自らの意思で活動することが大切である。その仕掛けをどのように作っていくか、また、生徒は 3 年で入れ替わるため先輩から後輩への引き継ぎが円滑にできるようにするにはどうすればいいか、これからの課題である。



本校の家庭クラブ員は、年 4 回の JR 伊予長浜駅待合室の座布団カバーの掛け替え、毎月 1 回の清掃活動をしている。

地域がきれいになることでやりがいを感じ、地域の方から、「お世話さま」と言葉をかけていただいて、生徒は「やってよかった」と思うようである。

今後も、できるだけ多くの生徒に活動の場を提供し、無償で得られる満足感を体感してもらいたい。



# 愛媛県立内子高等学校

〒791-3301

愛媛県喜多郡内子町内子 3397

TEL 0893-44-2105

FAX 0893-44-5708

大正 9 年 内子実科女学校創立

昭和 23 年 愛媛県立内子高等学校として発足

自らすすんで学び、自ら考え、自ら表現できる生徒を育成することを指導方針とし、知力・気力・体力の充実と共生の心を育む教育を推進する。

学級数：9 生徒数：351 普通科

## エコレボリューション～小さなことから始めよう

学校内ではエコキャップ収集箱を設置。全校生徒に呼びかけている。集まったエコキャップはワクチンにかわり小さな命を救うことになる。また、校外活動として防犯パレードの参加、児童館行事でバルーンアートを作成して配っている。地域の内子自治センターでのお祭りでは、たこ焼きやフランクフルト、焼きそばやカレーを作り販売した。地域の方々からは、高校生の参加が多くて助かったといわれる。

内子の冬は寒いので、座布団を作成し、内子駅で使用してもらっている。座布団カバーをするときには、部活動単位で呼びかけをして駅構内や駅周辺、並木道あたりを清掃している。設置した座布団については利用者から感謝の言葉をいただいた。

その他には、介護施設訪問、募金活動等、意欲的にボランティア活動に取り組んでいる。

今後はさらに、町おこしのために開催されている県内の「ご当地グルメ甲子園」にご当地グルメスイーツを開発して出店したいと考えている。



バルーンアートづくり



内子自治センターでたこ焼きづくり



### 生徒の話

エコキャップ運動は、保護者や地域住民にまで浸透していった。地域の人に感謝の言葉をいただくと、自分に自信がもてるようになる。初対面の人とも話ができるようになり、自分の成長の糧になると思う。

困っている人がいるのに、私たちができることをしないのはつらい。生きていくためには助け合うことが大切。内子駅に設置している座布団も「暖かくて助かっている」といわれた。活動を通して、周りを見ながら行動する必要があると感じた。

ボランティア活動に参加した生徒はみんな笑顔で、終わったあとは「楽しかったね」と一言。ボランティアに対する考え方が変わったこととこれからの活動に活かせると思った。自分が本当にやりたいことを見つけ出せるかもしれない。

医療系に進みたいという希望があり、施設に訪問したが、人との関わりの大切さや充実感や達成感を味わうことができた。活動を通じて、何事にも意欲が湧き積極的になれた。また、自分の知識を広げることが出来た。





# 愛媛県立八幡浜高等学校

〒796-0010

愛媛県八幡浜市松柏丙 654 番地

TEL 0894-22-2570

FAX 0894-22-1499

明治 34 年 八幡浜甲種商業学校として認可

昭和 24 年 旧制商業学校、旧制中学校、旧制高等女学校の 3 校が統合され愛媛県立八幡浜高等学校となる

校訓 五綱領「勉学・礼儀・健康・融和・奉仕」を基調として国家社会に有為な形成者としての資質を養い、社会の変化に柔軟に対応し、自らの進路を切り開く確かな学力を育成し、個性を尊重して、国際的視野を持った心豊かな人間を育成することを教育方針とする。

学級数：19 生徒数：746 普通科・商業科

## 八幡浜商店街の活性化をめざす

商業研究部は、地域の活性化を目指し様々な活動に取り組んでいる八幡浜市社会福祉協議会主催の「福祉のつどい」で、劇やダンスを披露した。

また、就労支援事業団体へアイデアを提供して、「みかんクッキー」の商品開発に関わっている。このクッキーは八幡浜商店街、文化祭等で売られ、収益金の一部は、東ティモールへ送られる。

さらに、八幡浜港において、ゴールデンウィークやお盆、年末など乗船客が多い時期に、再び、八幡浜に来てもらいたいという気持ちを込めて、大分行フェリーに乗船する人のお見送りをする。

ほかに、みかんの PR のためのみかん検定や、ちびっこ浴衣コンテストを実施している。11 月 28、29 日には、全国高等学校生徒商業研究発表会へ参加し、優秀賞を受賞した。これらの活動が町の活性化へつながると信じている。

地域の方々からは、「高齢者が高校生に元気をもらっている。高校生がいないと地域の行事が成り立たない」との声も聞かれる。



その他には、VYS の小学生のディキャンプでのカレー作り、家庭クラブの乳幼児施設、介護施設、地域イベント等へのお手伝い、さらに街頭募金もしている。また、愛宕山トンネルを抜けて通学する生徒がいるからと VYS や家庭クラブ、運動部生徒が中心となって、愛宕山トンネル周辺の清掃活動をしている。

高校生のボランティア活動は地域に活気を与えている。生徒自身も年齢や価値観が異なる人々とかかわることで、新たな学びや気づきがあり、社会に対して興味・関心をもち、自分自身に対する理解も深まっているようである。

今後も多くの生徒をボランティア活動に参加させたいが、部活や補習等ため、土日の参加が難しく、特定の部活動への依頼となることが多いので、顧問の負担が大きくなることが課題となっている。